

この取扱説明書は、この製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。また、この製品を末永くご使用いただくために、この取扱説明書は大切に保管してください。

お客様へお願いとお断り

- 本書の内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することはお断りいたします。
- 本製品のご使用により発生した損害に対しては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告

- 以下の内容を守らないと、火災や感電・ショート・発火・発熱・故障・破損の原因になります。
 - ・ 交流100V (AC100V) 以外の電源電圧で使用しないでください。
 - ・ 製品に水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - ・ 水がかかるおそれのある場所、湿気やホコリの多い場所では使用しないでください。
 - ・ 可燃性スプレー (エアダスターなど) は使用しないでください。
 - ・ 発熱したり、煙、異臭、異音、動作などの異常を感じたとき、金属片や液体などの異物が機器の内部に入ったとき、製品が故障したと思ったときは、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - ・ 温度・湿度の高い場所では使用しないでください。
 - ・ ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
 - ・ 電源プラグ・コネクタは、根元までしっかり差し込んでください。
 - ・ 電源プラグに、ホコリが付いた状態で使用しないでください。
 - ・ コンセントの差し込み口に、異物やゴミが入らないようにしてください。
 - ・ 電源プラグは、必ずプラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
 - ・ 暖房器具など火気を近づけたり、熱風を当てないでください。
 - ・ コンセントや配線に水がかからないように注意してください。
 - ・ コンセントや配線に洗剤や殺虫剤をかけないでください。
 - ・ コードを止め金などで固定して使用しないでください。
 - ・ コードをたばねて使用しないでください。
 - ・ コードの上に重いものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。
 - ・ コードを敷物の下にして使用しないでください。
 - ・ コードを加工したり、無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじらないでください。
 - ・ コードが傷ついたままで使用しないでください。
 - ・ コンセントが破損したり、外れかけた状態で使用しないでください。
 - ・ コンセント部やプラグ部などの分解や改造をしないでください。
 - ・ お手入れの際や、長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 刃の下には絶対に手や指を入れないでください。
けがの原因になります。
- 刃先には絶対に手や指を触れないでください。
けがの原因になります。
- 穿孔直後の刃、周辺部の金属部分は熱くなっていますので、絶対に手を触れないでください。
やけどによるけがの原因になります。
- 本体を分解・改造しないでください。
けがや感電の原因になります。
- 製品を廃棄するときは、焼却しないでください。
有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例にしたがって、正しく廃棄してください。

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠注意

- お子様には使用させないでください。
けがや破損の原因になります。
- 乳幼児の手の届かない場所に設置してください。
けがのおそれがあります。
- この製品を投げたり、ものにぶついたり、乱暴な取り扱いをしないでください。
衝撃による破損、落下によるけがの原因になります。
- 紙以外のもの (フィルム、OHPシート、布、ビニールなど)、粘着シールや接着剤の付いたものは穿孔しないでください。
製品の破損や故障により、けがの原因になります。
- ステابلやゼムクリップなどの金属物は、取り除いてから穿孔してください。
製品の破損や故障により、けがのおそれがあります。
- テーブルなどから、はみ出すような置きかたをしないでください。
転倒や落下により、けがの原因になります。
- 傾斜や段差、凹凸のある面など、不安定な場所では使用しないでください。
転倒や落下により、けがの原因になります。
- カス箱やテーブルを取り外したままで、製品を作動させないでください。
破損の原因になります。
- 可動部のすき間に指や手を入れないでください。
けがの原因になります。
- 製品に手をついたり、もたれかかったりしないでください。
転倒や破損により、けがの原因になります。
- 穿孔可能枚数を超えて、穿孔しないでください。



故障やけがをする原因になります。

- 用紙の端部に穿孔しないでください。
故障の原因になります。
- 穿孔は必ず2穴で行ってください。
片側 (1穴) だけで行くと故障の原因になります。
- 穿孔した用紙の上から、同じ位置に重複して穿孔 (W穿孔) しないでください。
故障の原因になります。
- 刃の交換は、必ず取扱説明書の手順にしたがって行ってください。
けがや故障の原因になります。
- 刃が破損してしまった場合は手で触れず、必ずラジオペンチなどを使用して取り除いてください。
けがの原因になります。
- 抜きカスは、定期的に捨ててください。
捨てずに使用を続けると、故障の原因になります。
- この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書を、よく読んでから使用するようにご指導ください。

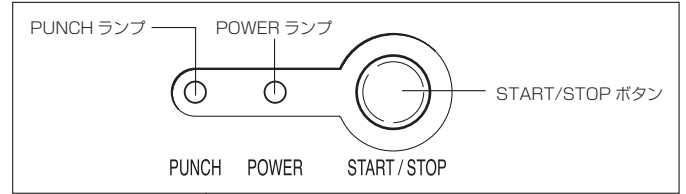
この製品の特長

- 最大27mm厚 (PPC用紙約300枚) の書類を簡単・確実・スピーディーに穿孔できます。
- A4長辺～ A6長辺までのセンター合わせが簡単にできるゲージ付きです。
- 刃の交換に工具を必要としません。

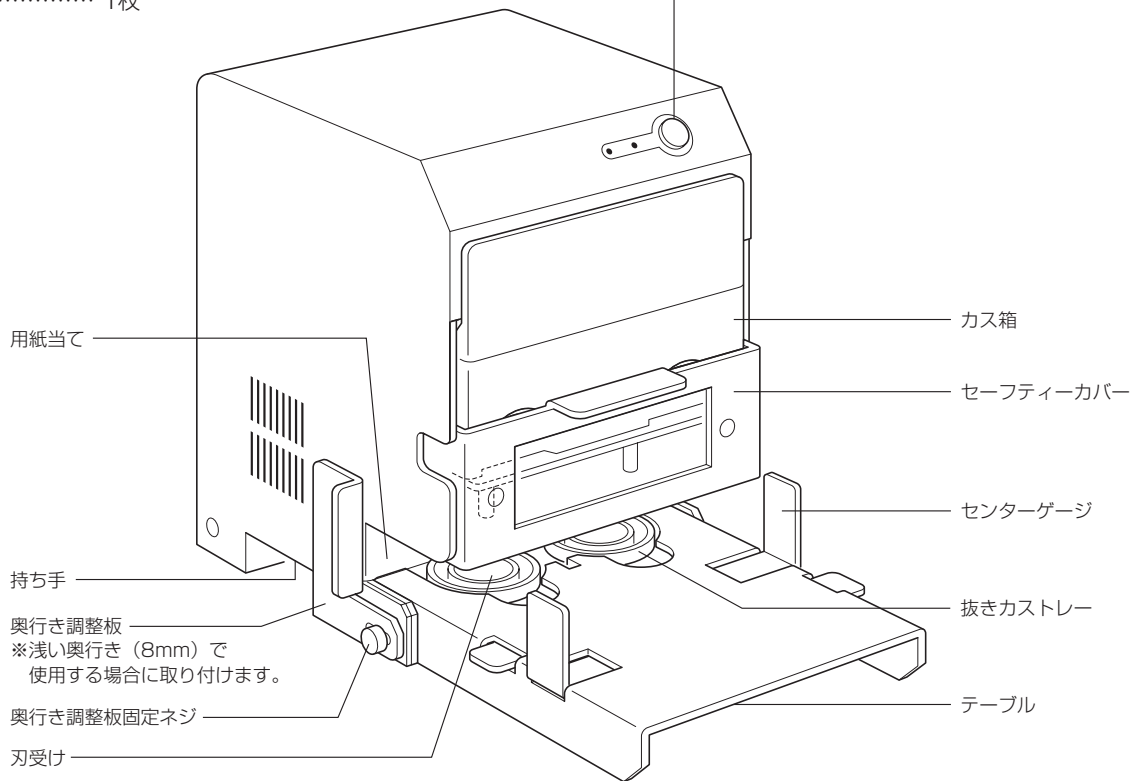
各部のなまえと付属品

〈付属品と数量〉

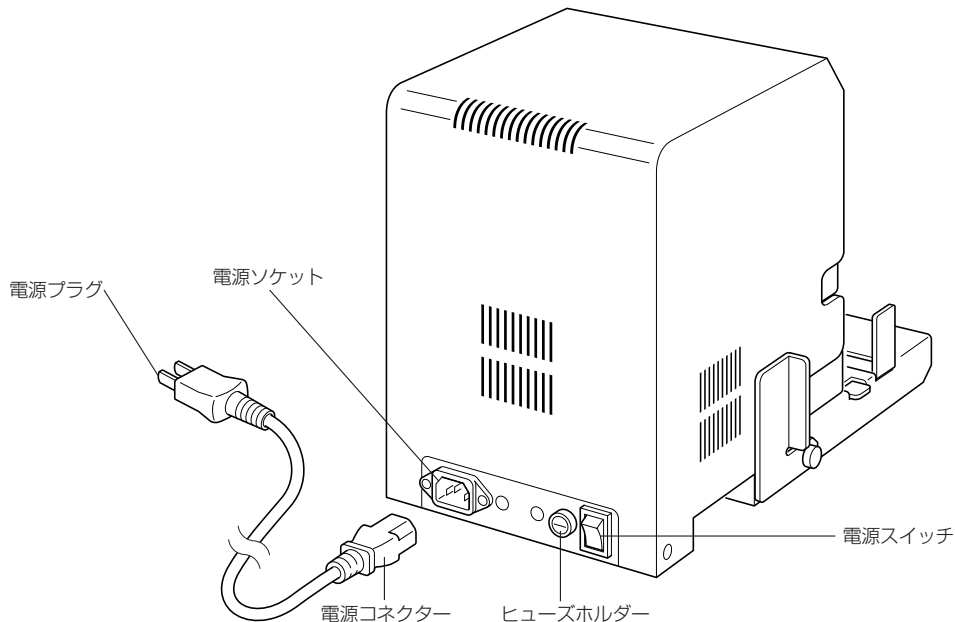
電源コード	1本
テーブル	1個
抜きカストレー	2個
ヒューズ (本体取付済: 1本)	2本
奥行き調整板 (左右各1枚)	2枚
取扱説明書 (本書)	1冊
保証書	1枚



〈前面〉



〈背面〉



使用前の準備

警告

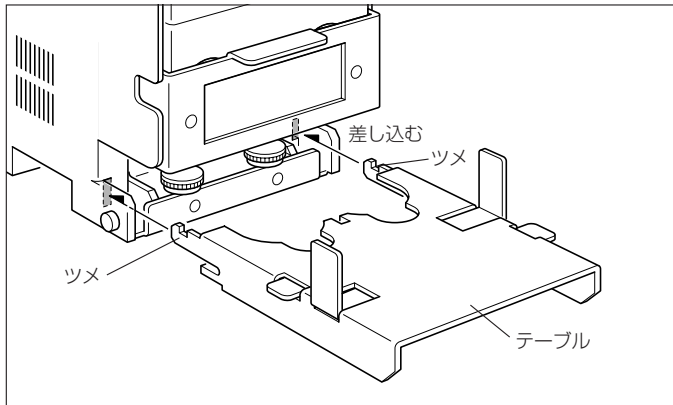
準備の前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ショートや感電、けがの原因になります。

〈準備をするときのご注意〉

水平が保てない台(机)には絶対に設置しないでください。テーブルが傾くことにより刃に負担がかかり、破損の原因になります。

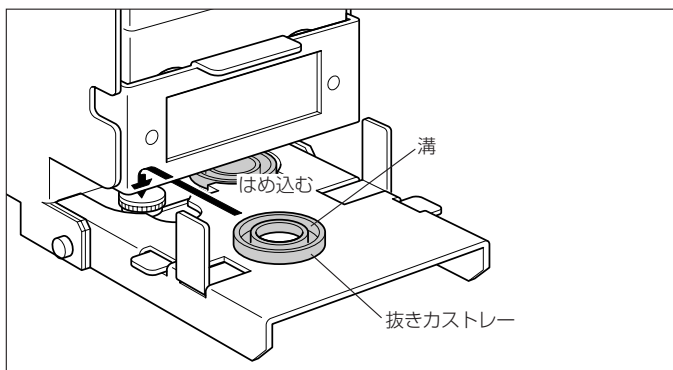
1 テーブルの取り付け

平らな机の上などに本体を置き、テーブルのツメを本体に奥まで差し込んでください。



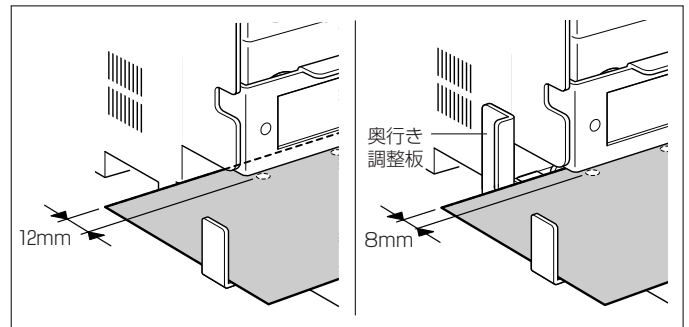
2 抜きカストレーの取り付け

抜きカストレー (2個) を、溝がある面を上にして、図のようにはめ込んでください。

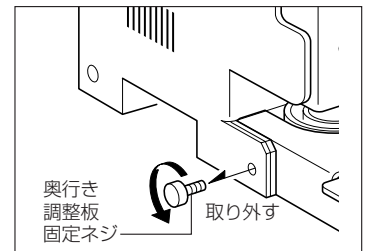


3 奥行き調整板の取り付け

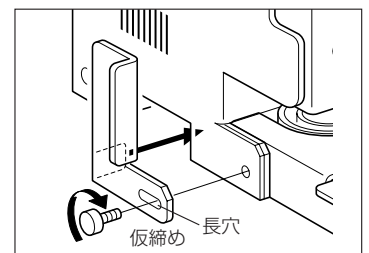
奥行き調整板を取り付けると、通常の奥行き(12mm)より浅い奥行き(8mm)で使用できます。
浅い奥行き(8mm)で使用したい場合、取り付けてください。



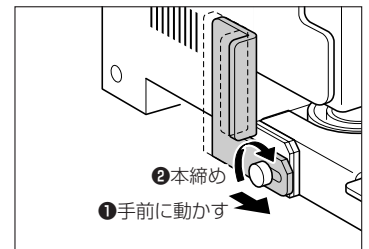
1. 本体側面の奥行き調整板固定ネジを取り外してください。



2. 奥行き調整板の長穴と本体のネジ穴を合わせて、奥行き調整板固定ネジを仮締めしてください。

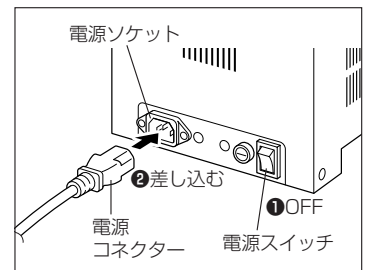


3. 奥行き調整板を手前に動かし、「2」で仮締めした奥行き調整板固定ネジを本締めしてください。

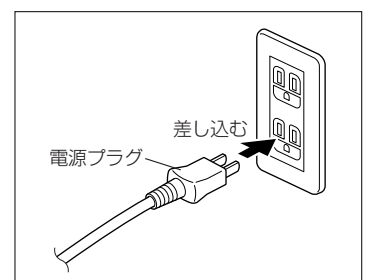


4 電源コードの取り付け

1. 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コネクターを電源ソケットに差し込んでください。

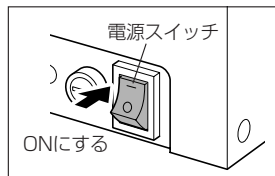


2. コンセントに電源プラグを差し込んでください。



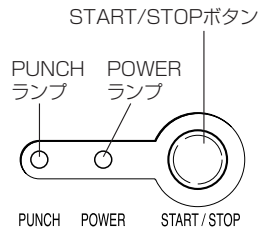
電源の入れかた

電源スイッチをONにしてください。
POWERランプが点灯します。



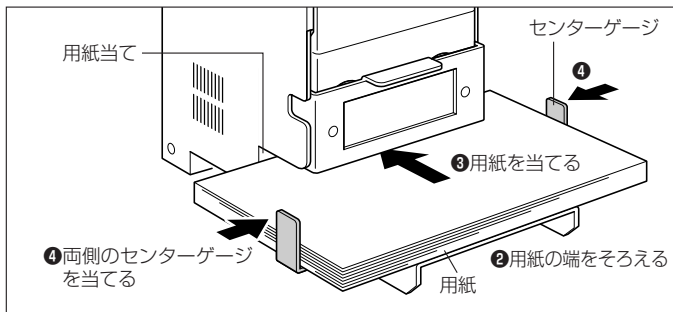
〈各操作・動作状態のランプ表示について〉

状態	PUNCHランプ	POWERランプ
電源ON	1回点滅	
用紙未検知	消灯	
用紙検知	点灯	
作動(下降)	点滅	点灯
作動(上昇)	点灯	点灯
カス箱なし	2回点滅	
停止(手動)	点滅(速)	
停止(異常)	点滅(速)	
電源OFF	消灯	消灯



用紙のセットのしかた

1. センターゲージを広げておきます。
2. 平らな机の上などで、穿孔したい用紙の端をそろえてください。
3. 「2」でそろえた用紙を、テーブルの上に置き、用紙当て(奥行き調整板を取り付けている場合は奥行き調整板)に当ててください。
4. 両側のセンターゲージを狭めて、用紙に当ててください。



〈使用上のご注意〉

用紙をセットするときは、用紙当て(奥行き調整板を取り付けている場合は奥行き調整板)とセンターゲージ両側にすべての用紙が接していることを確認してください。

刃の破損の原因になります。



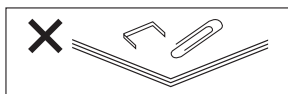
穿孔のしかた

⚠警告

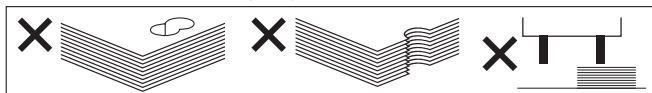
作業が終わったら、必ず電源スイッチをOFFにし、プラグをコンセントから抜いてください。
誤作動によるけがの原因になります。

〈使用上のご注意〉

- 用紙以外のものや、接着剤が付いた部分に穿孔しないでください。
- 奥行き8mm未満で穿孔しないでください。
- 幅125mmよりも小さい用紙への穿孔はしないでください。
- ステープルやゼムクリップなどの金属物は取り外してから穿孔してください。

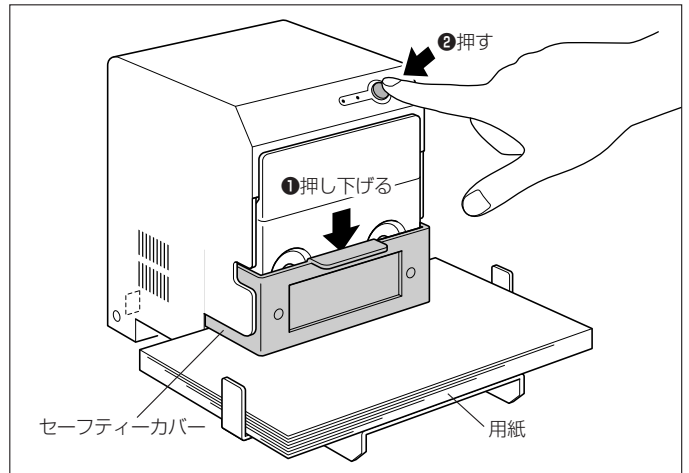


- W穿孔や紙の端部、片側(1穴)だけの穿孔はしないでください。

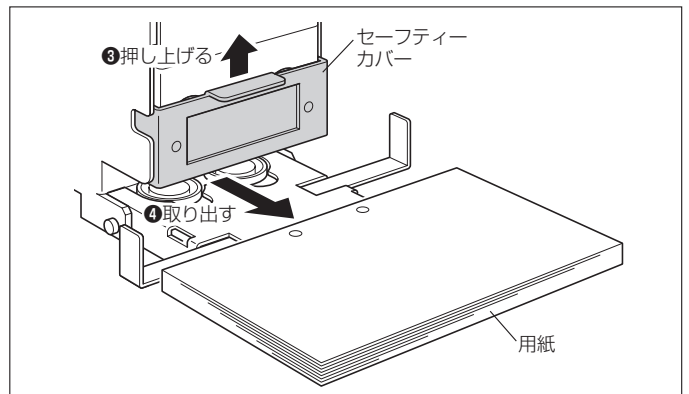


- 穿孔中に用紙を動かさないでください。

1. セーフティカバーを押し下げて、用紙に当ててください。PUNCHランプが点灯します。
2. START/STOPボタンを押ししてください。刃が下がり、穿孔します。穿孔中はPUNCHランプが点滅します。
※穿孔が完了したら、自動で刃が一番上まで戻り、PUNCHランプが点灯に変わります。



3. 穿孔が完了したら、セーフティカバーを押し上げてください。
4. 用紙を取り出してください。



停止のしかた

⚠注意

途中で穿孔した用紙を、再度穿孔することはしないでください。
刃が破損する原因になります。

〈一時停止のしかた〉

穿孔中にSTART/STOPボタンを押すと一時停止し、PUNCHランプが速い間隔で点滅します。
START/STOPボタンを3秒以上長押し、PUNCHランプの点滅が消えてから手を離すと、自動的に刃が一番上まで戻ります。
再度穿孔する場合は、新しい用紙をセットしなおし、セーフティカバーをもう一度上げ下げして、PUNCHランプの点灯を確認してください。

〈自動停止したとき(異常時)〉

穿孔中に異常が発生した場合、自動で停止します。
数秒後、刃が一番上まで戻り、PUNCHランプが速い間隔で点滅します。用紙以外のものを穿孔していないか、刃・刃受けが傷んでいないか、W穿孔をしていないかなどを確認し、電源スイッチを入れなおしてください。

電源の切りかた

電源スイッチをOFFにしてください。



抜きカスの捨てかた

警告

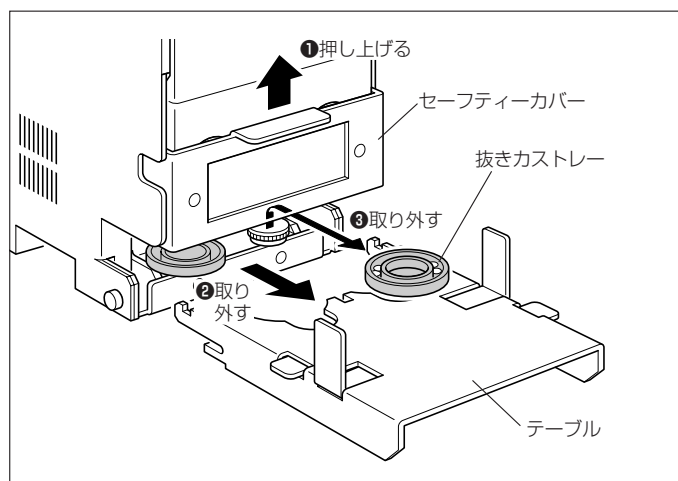
- 本体裏面にある電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
誤作動によるけがの原因になります。
- カス箱とセーフティカバーのすき間には、絶対に指を入れないでください。
けがの原因になります。
- 刃先には絶対に手や指を触れないでください。
けがの原因になります。
- 穿孔直後の刃、周辺部の金属部分は熱くなっていますので、絶対に手を触れないでください。
やけどによるけがの原因になります。

〈使用上のご注意〉

抜きカスはこまめに捨ててください。

1 抜きカストレー

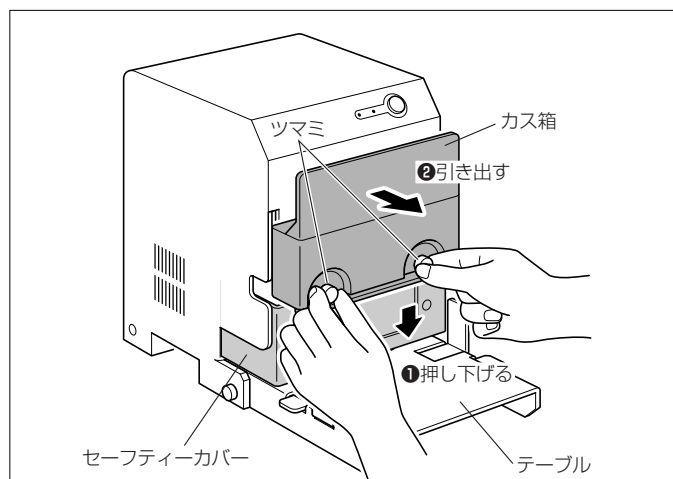
1. セーフティカバーを押し上げ、用紙を取り出してください。
2. テーブルを取り外してください。
3. 抜きカストレーを取り外し、抜きカスを捨ててください。



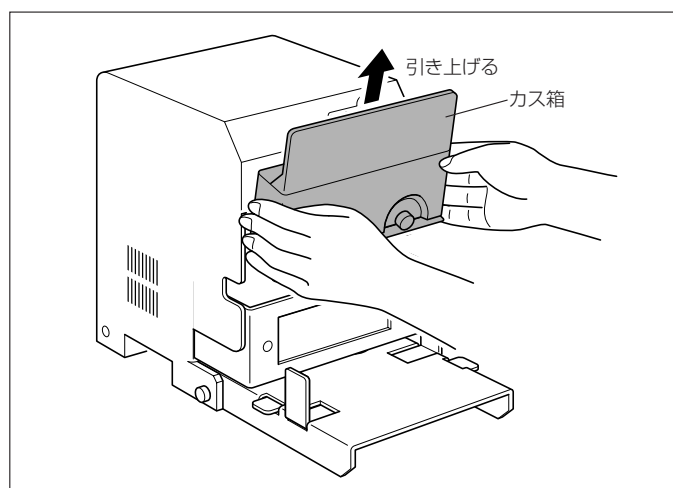
4. 「2」～「3」と逆の手順で、抜きカストレーとテーブルを取り付けてください。

2 カス箱

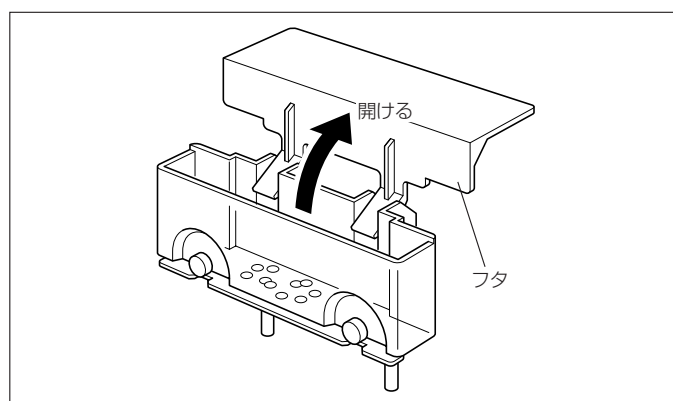
1. 用紙を取り出し、セーフティカバーを押し下げて、テーブルに当ててください。
2. カス箱のつまみを両手で持ち、手前に少し引き出してください。



3. カス箱の両端を持ち、上に引き上げてください。



4. カス箱のフタを開けて、抜きカスを捨ててください。



5. 「2」～「4」と逆の手順でカス箱を取り付けてください。

刃の交換のしかた

⚠警告

- 刃の交換をするときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
誤作動によるけがの原因になります。
- 刃をセットするときは、刃先には絶対に手や指を触れないでください。
けがの原因になります。
- 穿孔直後は刃が熱くなっていますので、刃が冷めるまで交換はしないでください。
やけどによるけがの原因になります。

⚠注意

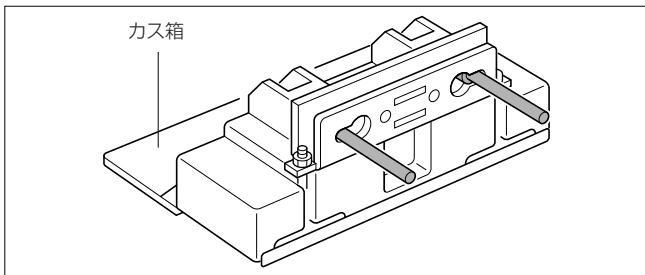
- カス箱を持ったまま交換しないでください。
破損や落下によるけがの原因になります。
- 交換するときは、左右とも交換してください。
刃の破損のおそれがあります。

〈交換の目安〉

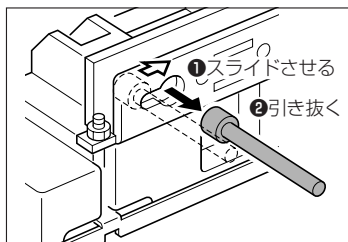
以下のような場合、早めに左右とも新しい刃と交換してください。

- 用紙が切れ残る
- 穿孔した穴が毛羽立つ
- 刃受けを回転、交換しても最後の1枚まで穿孔できない
- 穿孔動作が途中で止まる

1. カス箱を⑥ページの要領で取り外し、抜きカスを捨ててください。
2. 図のように、カス箱の前面を下にして置いてください。

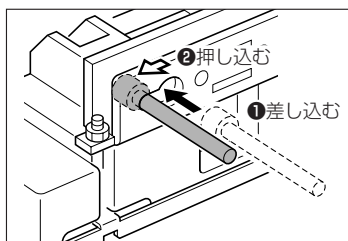


3. 刃の根元を持って、矢印の方向にスライドさせて引き抜いてください。
※刃に残った抜きカスがこぼれることがあります。



4. 刃の取り付け部分の抜きカスを取り除いてください。
※抜きカスが残っていると、新しい刃の取り付けができません。

5. 新しい刃を差し込み、矢印の方向に押し込んでください。



6. カス箱を⑥ページの要領で本体に取り付けてください。

7. 交換後は、不要な用紙を数枚セットし、テスト作動を行ってください。

刃受けの回転と交換のしかた

⚠警告

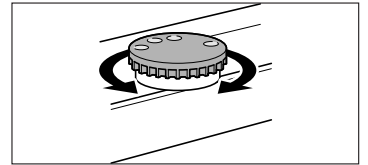
- 刃受けの交換をするときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
誤作動によるけがの原因になります。
- 刃受けを回転・取り外すときは、直接手や指で行わないでください。
けがの原因になります。

〈刃受けの回転のしかた〉

抜きカストレーを取り外し、マイナスドライバーなどを差し込んで、刃受けを少しずつ回転させてください。

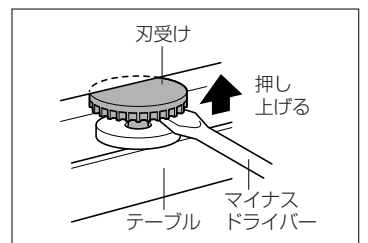
※刃受けの回転は、1カ所での穿孔30回を目安に行ってください。

※刃跡が1周して凹凸がひどくなったり用紙が切れ残るようになったら交換してください。



〈刃受けの交換のしかた〉

1. テーブルと抜きカストレーを取り外してください。
2. 刃受けの下側からマイナスドライバーなどを差し込み、上に押し上げて取り外してください。
3. 新しい刃受けを取り付けてください。
4. テーブルと抜きカストレーを取り付けてください。



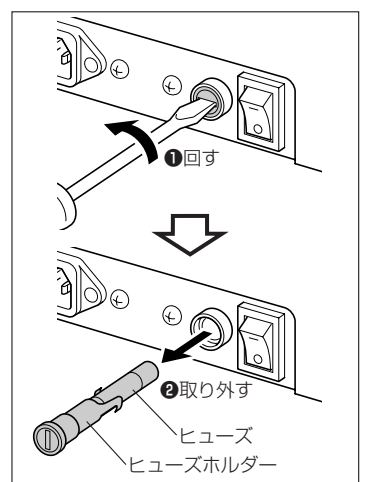
ヒューズの交換のしかた

⚠警告

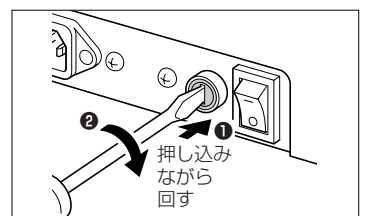
ヒューズを交換するときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。

ヒューズが切れた場合は、付属のヒューズに交換してください。

1. 本体裏面のヒューズホルダーの溝にマイナスドライバーを差し込み、回して取り外してください。






2. 新しいヒューズをヒューズホルダーに取り付け、マイナスドライバーで押し込みながら回して本体に取り付けてください。



故障かな?と思ったら(不調診断)

※ 下記の処置をしても直らない場合や、穿孔中に停止して全く作動しなくなった場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	こう処置してください
電源が入らない (POWERランプ が点灯しない)	電源プラグがコンセントに、電源コネクターがソケットに差し込まれていないことが考えられます。電源プラグや電源コネクターを入れてください。
	電源スイッチがONになっていないことが考えられます。電源スイッチをONにしてください。
	ヒューズが切れていることが考えられます。ヒューズを交換してください。
	タコ足配線していることが考えられます。タコ足配線しないでください。
穿孔ができない	刃が付いていないことが考えられます。刃を取り付けてください。
	刃受けが付いていないことが考えられます。刃受けを取り付けてください。
STARTボタンを 押しても 作動しない	PUNCHランプが消灯 セーフティーカバーが下がっていないことが考えられます。セーフティーカバーをしっかりと押し下げ、PUNCHランプの点灯を確認してください。
	PUNCHランプが2回点滅 カス箱がしっかりと取り付けられていないことが考えられます。カス箱を取り付けなおしてください。
	PUNCHランプが点滅(速) 穿孔中に異常が発生し、自動停止したことが考えられます。用紙以外のものを穿孔していないか、刃・刃受けが傷んでいないか、W穿孔をしていないかなどを確認し、電源スイッチを入れなおしてください。
	連続使用でモーターが過熱していることが考えられます。電源スイッチをOFFにし、15分ほど置いてから使用してください。
穿孔中に停止し、 異常音が続いた あとに刃が一番 上まで戻る	刃先が摩耗、破損していることが考えられます。新しい刃と交換してください。
	カス箱に抜きカスがいっぱいになっていることが考えられます。カス箱を外して抜きカスを捨ててください。
	用紙以外のものを穿孔していることが考えられます。用紙以外のものを穿孔しないでください。
	W穿孔したことが考えられます。W穿孔をしないでください。
電源スイッチを ONにした直後に 作動した	片側(1穴)で穿孔したことが考えられます。必ず2穴で穿孔してください。
	作動中に電源スイッチをOFFにした、または停電等で電源がOFFになったことが考えられます。作動中は電源スイッチをOFFにしないでください。 ※ 電源スイッチをONにすると、自動で刃がスタート位置に戻ります。故障ではありません。

こんなときは	こう処置してください
用紙の切り残し が出る	刃が摩耗していることが考えられます。新しい刃と交換してください。
	刃受けが摩耗していることが考えられます。刃受けを回転するか、新しい刃受けと交換してください。
刃が曲がる、 破損する 穴が最後まで あかない	用紙当て(奥行き調整板)とセンターゲージ両側にすべての用紙が接していないことが考えられます。用紙当て(奥行き調整板)とセンターゲージ両側に用紙をそろえて確実に当ててください。 
	W穿孔や、紙の端部に穿孔していることが考えられます。W穿孔や、紙の端部に穿孔しないでください。 
	ステーブル、ゼムクリップなどの金属物により、刃先が傷んでいることが考えられます。ステーブル、ゼムクリップなどの金属物を取り除いてください。 
	用紙以外のものを穿孔したことが考えられます。用紙以外のものを穿孔しないでください。
カス箱が 外れない	規格の最小奥行き(8mm)未満で穿孔していることが考えられます。規格の奥行きで穿孔してください。
	穿孔途中で用紙を動かしたことが考えられます。穿孔中に用紙を動かさないでください。
	刃受けが傷んでいることが考えられます。刃受けを回転するか、新しいものと交換してください。
	テーブル・抜きカストレーが正しく取り付けられていないことが考えられます。テーブル・抜きカストレーを正しく取り付けてください。
カス箱が 外れない	本体が不安定な場所に設置されていることが考えられます。本体を水平で安定した場所に設置してください。
	セーフティーカバーが最下部まで下がりきっていないことが考えられます。セーフティーカバーを下げて、テーブルに当ててください。

使用上のお願い

- この製品は室内または屋内用です。屋外での使用や水ぬれは、ショートによる故障やさび・変色のおそれがあります。
- 直射日光やストーブなどの熱が直接当たる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。変色や変形などのおそれがあります。
- 飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをのせたまま使用しないでください。ショートによる故障の原因になります。
- 刃先の形状上、刃先より抜きカスがこぼれる場合があります。穿孔枚数が少ないほどこぼれやすい傾向にありますので、穿孔枚数を増やしてご使用ください。
※ 穿孔枚数が少ない場合は、小型のパンチを使用されることをお勧めします。

お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

〈汚れを落とすときの注意〉

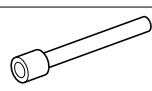
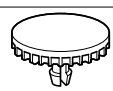
水にぬれたままにしておいたり、化学雑巾、アルコールやシンナー系溶剤、酸・アルカリ性洗剤の使用は避けてください。さびや変色の原因になります。

仕様

品番	PN-E300
外寸法(mm)	W210・D330・H250(テーブル・奥行き調整板含む)
最大穿孔能力	PPC用紙 約300枚
穿孔ピッチ(mm)	80±0.5
穿孔奥行き	8mm/12mm±1 ※
穿孔穴径(mm)	6±0.5
用紙サイズ	A4長辺～A6長辺(148～297mm) ※
質量(kg)	13.2(テーブル・奥行き調整板含む)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	400W
定格時間	30分
ヒューズ	5A 125V

※ 製品の構造上、奥行き8mmでは、対応用紙サイズの最小サイズがB5短辺となります。

別売品

替刃(2本入り)	刃受け(10個入り)
PN-E300A 	PN-E300B 

コクヨ株式会社

お客様相談室 ☎0120-201-594

<https://www.kokuyo.co.jp/>